

(別紙)

## 石川県人材領域における連携支援計画

### I 必須記載事項

#### 1 連携支援事業の目標

##### (1) 支援対象とする事業分野

本連携支援計画では、第二期石川県基本計画に定める以下の事業分野を主な対象とする。  
○石川県全域の製造業（機械・繊維・食品・IT関連産業）の集積を活用した成長ものづくり分野（デジタル、グリーン、炭素繊維、ライフサイエンスの成長分野や事業の高度化等）

※第二期石川県基本計画「5（1）地域の特性及びその活用戦略」に記載のあるその他の分野においても、複数の分野を横断した支援事業を実施する場合がある。

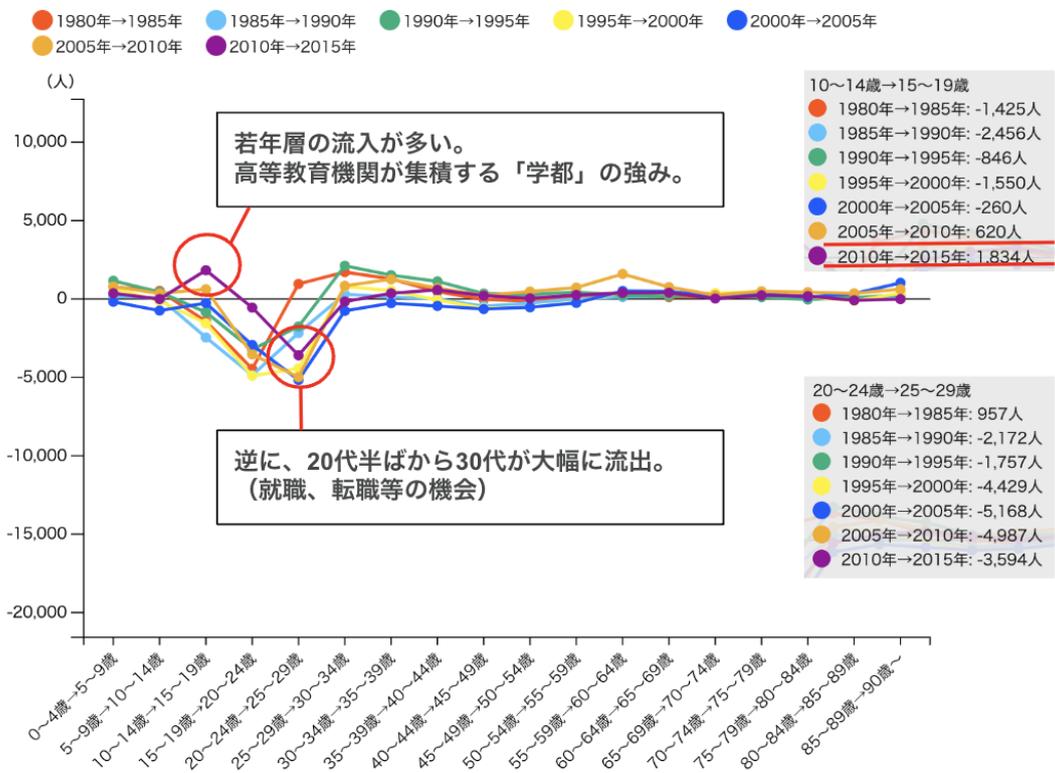
##### <石川県の産業構造と課題>

石川県の産業構造は、製造業を中心に多様な分野で構成され、特にものづくり分野は地域経済の基盤を支える主力産業としての役割を果たしている。繊維産業や金属加工業などの伝統産業が根強く残る一方、食品や、電子部品や精密機械といった高付加価値分野の製造も発展している。2021年時点で製造業の出荷額は県全体の約30%を占め、全国平均を上回る水準となっており、総雇用者数においても約20%を占め、主要な雇用の分野ともなっている。また、観光業は加賀温泉郷や金沢市を中心に重要な位置を占め、農林水産業では加賀野菜や能登牛などの特産品が地域ブランドとして評価されている。

しかし、地域内で多くの経済が循環する一方で、石川県は県外の競争市場への対応が課題となっている。特に製造業においては、経営者の世代交代や消費者ニーズの変化、震災の影響などにより、企業は時代に即して変革を求められている。多くの企業が歴史ある伝統を持つものの、社内コミュニケーションや企業理念の浸透に課題を抱えている。上司と部下の関係や上層部と若手層の意見の相違が会社運営に影響を与えることや、企業理念の策定やその浸透施策の不足も見られる。

人材面でも、県内の慢性的な人手不足や若者の県外流出が深刻な問題となっている。特にITやデジタル分野に対応できる高度なスキルを持つ人材が不足している。若者層については、石川県は人口当たりの高等教育機関の数が全国1位、生徒数が全国3位であり、入学時には全国から多くの学生が進学するため転入超過となる。しかしながら、卒業時・それ以降には大幅に転出し転出超過となっており、大学生の県内就職率は4割程度となる。地域衰退の主因である地域企業の就業機会不足は深刻であり、県内他地域や富山市・福井市などから人口を転入し、都市部に転出させる悪循環が止まらない。働き方改革やダイバーシティ推進といった全国的なトレンドに対しても、県内企業の変革が必要である。

### 年齢階級別純移動数の時系列分析（石川県）



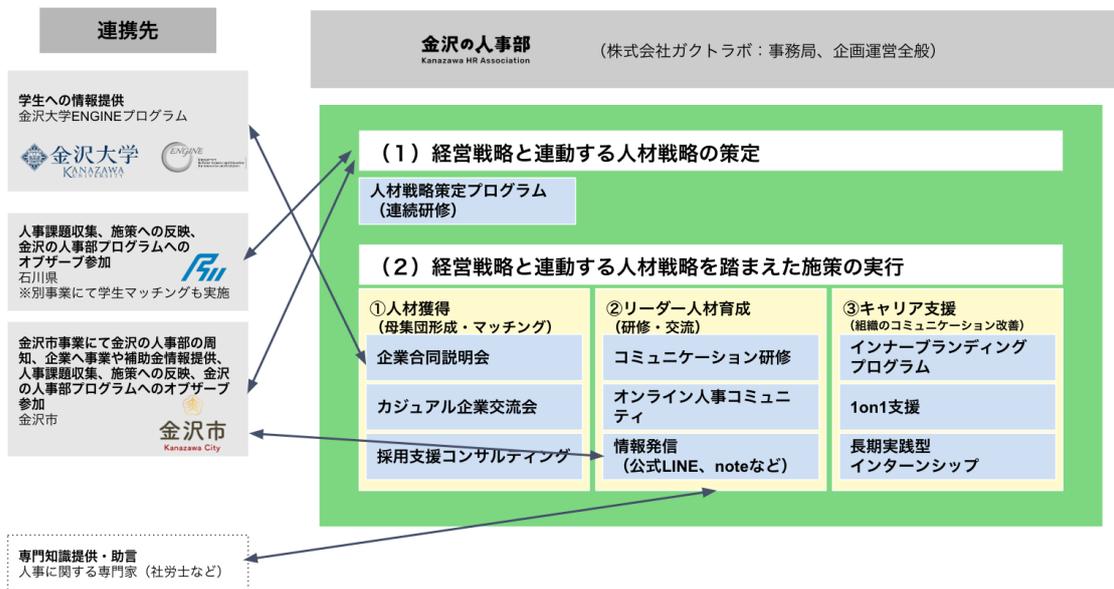
石川県では、このような人材課題に対応するため、県内外で様々な取り組みを進めている。例えば、若者の県内定着を促進するために、地域企業と大学生を結びつけるインターンシップやキャリア教育を充実させており、また、先端技術分野で活躍できる人材育成を目指して、産学官連携によるデジタル技術やグローバルビジネスに対応した教育プログラムが実施されている。

今後も、企業や行政、教育機関が一体となって、長期的な地域活性化を見据えた連携を行ない、課題解決に向けて取り組んでいくことが必要不可欠である。

#### （2）地域における産学官金の地域経済牽引支援機関の連携による支援体制の構築

株式会社ガクトラボは、10年以上にわたり、石川県を拠点に行政機関、教育機関などと連携し、人材の獲得・育成・定着を支援する事業を展開してきた。この過程で培ったネットワークとノウハウを活かし、今後も、石川県や金沢市、金沢大学、人材関連の専門家と協力し、ものづくりの分野を中心に人材面から石川県の産業の持続的発展を支える。また必要に応じて金融機関や業界団体との連携も視野に入れ、産学官金の連携を強化する。こうした連携を通じて、地域全体で人材確保や育成などの課題解決に取り組む支援体制を構築していく。

【実施体制図】



(3) 地域の地域経済牽引支援機関の役割と責任の明確化

本連携支援計画の「3. 連携支援事業を実施する者の役割分担、相互の提携又は連絡に関する事項」に基づき、連携支援事業を共同で実施する各支援機関の役割と責任を明確にする。また、地域外の支援機関と協力・連携を図り、効果的な連携支援事業の推進を目指す。

(4) 地域内で不足する支援機能の地域外からの補完

地域内でより良い支援を行うためには、既存のノウハウや専門知識だけでは十分ではなく、時代の変化に対応したさらなる知見や実践が求められる。この課題に対応するため、他地域で同様の事業を行う機関との相互情報交換が可能な全国的なネットワークに参加し、不足する部分を補強する。

**inquiry** 合同会社が運営する「地域人事部アライアンスネットワーク」に加入している。このネットワークは、地域の人事部事業に関わる機関が集まり、互いのナレッジや事例の共有を行う互助団体である。ネットワークに在籍する専門知識を持つ関係者とのつながりを活用し、事業運営に関する具体的なアドバイスを受ける機会も得ており、今後も継続して利用する。

**NPO 法人 ETIC.**が運営する「チャレコミ」にもメンバーとして参加している。このコミュニティは、全国各地の事業者や自治体、教育機関が所属し、若者や移住者などと共に地域に変革を起こす活動を支援している。地域ごとに適した持続可能な仕組みを構築するための相談が可能であり、他のメンバーと意見や情報の交換をする中で知見を深め、今後の活動に活かす。

(5) 想定する支援件数

成長ものづくり分野において、2025年度～2029年度で計163件支援する。

	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	合計
目標件数	17件	24件	28件	38件	40件	163件

(6) その他

<実績>

株式会社ガクトラボが本連携支援事業を推進するにあたり、関連する実績を記す。  
これまで、第二期石川県基本計画「6(5)③人材育成・確保支援」の文脈において、様々な事業に取り組んできた。その一部を抜粋して記載する。

■人材マッチング支援

- ・実践型インターンシップ事業

2014年度-2024年度、約6か月間のインターンシッププログラムにおいて延べ133社のコーディネート、受入学生延べ133名(自社インターン含む)

- ・オンライン合同説明会事業

2020年度-2024年度、金沢大学ENGINEプログラムと連携して計13回実施。企業数述べ85社、参加学生数述べ467名(申込:595名)

- ・石川県事業(主催石川県、企画運営(株)ガクトラボ)

オンライン企業見学会、いしかわオンライン業界研究会、いしかわ就職オンライン交流会、いしかわプレ・インターンシップの企画・運営

- ・金沢市事業(主催金沢市、企画運営(株)ガクトラボ)

オンラインインターンシップ事業、エクスターンシップ事業などの企画・運営。

- ・金沢大学事業(主催金沢大学、企画運営(株)ガクトラボ)

エクスターンシップ事業、キャリア形成イベント「大しごと一く」の企画・運営

■副業・兼業の活用支援

- ・中部経済産業局事業(主催中部経済産業局、企画運営北陸担当(株)ガクトラボ)

2019年度-2023年度 地域企業と副業・兼業者のコーディネート

- ・石川県事業(主催石川県、企画運営(株)ガクトラボ)

2023年度 都市部副業人材活用による県内中小企業課題解決モデル事業

地域企業3社と副業・兼業者3名のコーディネート

■その他人材育成・確保支援事業に関する採択実績

- ・令和4年度「中小企業経営支援等対策費補助金(若者人材確保プロジェクトの実証)」
- ・令和5年度「地域・企業共生型ビジネス導入・創業促進事業補助金(地域戦略人材確保等実証事業)」
- ・令和6年度「地域の中堅・中核企業の経営力向上支援事業補助金(地域戦略人材確保等実証事業)」

他多数

上記により培われたものを基盤とし、更に発展させる形で本連携支援事業を構築し、石川県の産業人材の確保と定着に努める。

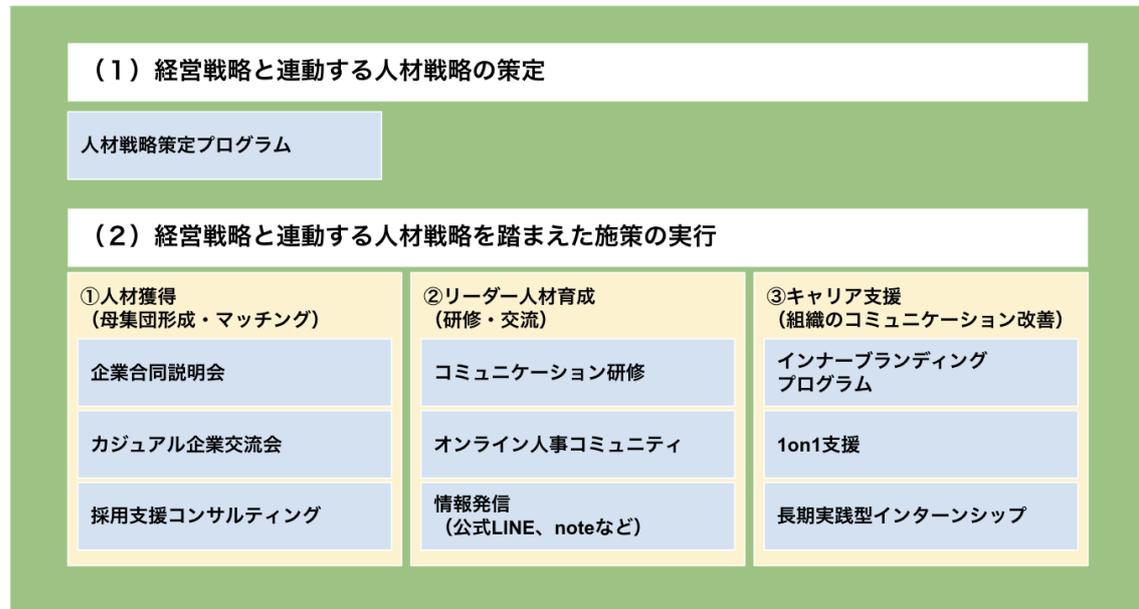
## 2 連携支援事業の内容及び実施期間

### (1) 連携支援事業の内容

本連携支援事業では、第二期石川県基本計画「6 (5) ③ 人材育成・確保支援」を促進するため、石川県内の中小企業が抱える経営課題や人事課題に対して、総合的なサービスをワンストップで提供する人事ネットワーク「金沢の人事部」を運営する。本ネットワークは、行政機関、教育機関、専門家と連携して運営し、企業の人材面の課題解決や魅力向上を通じて、産業の発展を目指す。具体的には、本支援計画1 (6) の過程で培ったことを基盤とし、下記【1】【2】に関する支援を実施し、企業の本質的な課題解決を目指す。

【1】経営戦略と連動する人材戦略の策定

【2】【1】を踏まえた施策の実行



【1】経営戦略と連動する人材戦略の策定

ものづくり企業の経営者や跡継ぎ候補者を対象とした、経営者の代替わりや人材課題の解決を目的とする3~5社共同の研修プログラム「金沢戦略人事の会」を実施する。本プログラムでは、戦略人事や組織開発に関する専門家の力を借りながら、中長期経営戦略と連動した人材戦略の策定と実行を支援する。

研修は全5回の連続講座で構成され、戦略人事の基礎的な理解を深める学びから開始する。その後、経営理念や価値観の明確化、経営戦略と人材戦略の連動を検討し、最終的には具体的なアクションプランを策定・発表する。参加企業間の交流やフィードバックを通じて、多様な視点を取り入れながら、実践的な戦略を構築する。

さらに、石川県や金沢市の担当者がオブザーブ参加し、経営者層のリアルな声を直接聞く機会を設ける。これにより、地域の政策づくりに活かせる具体的な知見を共有し、行政と企業が連携して課題解決に取り組む基盤を強化する。

また、研修の実施にとどまらず、各企業への伴走支援を行い、進捗確認や課題解決をサポートする。参加企業同士が学び合い、知見を共有するコミュニティの運営も行い、企業間連携を促進する。策定した施策については、実行支援や振り返りを通じて軌道修正を行い、現場での実践につなげる。

このプログラムを通じて、ものづくり企業が経営と人材戦略を一体化し、地域と連携しながら持続可能な成長を実現することを目指す。

## 【2】【1】を踏まえた施策の実行

### ①人材獲得（母集団形成・マッチング）

#### ■オンライン合同説明会

企業の採用力を強化しながら、学生と企業がより効率的に接点を持つための場として、オンライン合同説明会を運営する。石川県内を中心に、北陸地方の大学のキャリア支援センターや、金沢大学の地域基幹産業を再定義・創新する人材創出プログラム「ENGINE」と連携し、企業と学生のマッチングを最適化する。企業は学生に対して自社の魅力を伝え、学生は複数の企業に簡単に接触できる機会を提供する。イベント後、学生がさらに企業に興味を持つよう、コーディネーターによるアフターフォローも実施する。

#### ■カジュアル企業交流会

参画企業の経営者や跡継ぎ候補、従業員が、地元の施設で大学生を対象にカジュアルな合同説明会を開催する。飲食物を提供しながら、企業と学生がリラックスした雰囲気の中で語り合う場を運営し、両者の関係作りを促進することで母集団形成につなげる。また、従業員が自社の魅力や自身のキャリアについて考え伝えることをサポートし、従業員育成にも貢献する。学生への影響や従業員の成長度、エンゲージメント向上、企業間のつながりの醸成などを効果検証して定期開催に活かす。

#### ■採用・定着支援コンサルティング

採用・定着支援コンサルティングでは、各企業ごとの課題にあわせて適切な支援を行うことで、企業の成長を支える。インターンシップやオープンカンパニー、企業説明会、新入社員研修などのプログラムの設計や運営のサポートを通じて、企業の採用活動や人材定着に関する課題解決を支援し、企業の持続的な成長を実現する。

### ②リーダー人材育成（研修・交流）

#### ■コミュニケーション研修

経営層や中間管理職を対象にした研修を運営することで、社内のコミュニケーションの質を向上させ、組織全体の効率的な運営を実現する。これにより、社員のエンゲージメントや業務の円滑さが向上し、企業の競争力を強化する。特に、社労士と連携して行うハラスメント研修や、1on1研修では、部下との適切な関わり方やコミュニケーション技術を学び、職場環境の改善と社員のモチベーション向上を促進する。

#### ■オンライン人事コミュニティ

北陸地域の経営者や人事担当者が集うオンラインコミュニティを運営する。このコミュニティでは、企業や地元の専門家と定期的に座談会や人事課題をテーマにしたワークショップを開催し、他社事例や最新の人事トレンドを学べるような場を継続的に運営している。また、オンラインチャットツールを24時間アクセス可能としており、リアルタイムで人事に関する情報交換が可能である。専門家としては、採用コンサルタント、社労士、研修教育担当者、人材紹介業者などが在籍している。コンサルタントに依頼するよりも安価

で、気軽に参加できるため、企業は実践的な学びを得やすい。今後も地元企業同士のネットワークを深める場として機能させ続けることで北陸地域の人材育成の強化に貢献する。

■金沢の人事部公式 LINE、金沢の人事部 note マガジン

金沢市との連携による補助金や助成金情報、研修・イベント情報を公式 LINE や note マガジンを通じて発信し、企業が必要とする支援をタイムリーに提供する。これにより、地域企業は人材育成や経営の改善に役立つリソースを手軽に得ることができ、地域経済の活性化を後押しする。また、他社事例や成功事例を共有することで、企業が自社の課題を見つめ直し、取り組みの改善や新設に繋がる学びを得られる。

③キャリア支援（組織のコミュニケーション改善）

■インナーブランディングプログラム（新規）

企業向けインナーブランディングの企画や伴走支援を行う。経営者や人事担当者へのヒアリングからプロジェクトチームを発足し、社内の課題の洗い出しや、将来のあるべき姿、取り組む事項について検討する場のファシリテーションを担う。企業の理念や価値観を明文化・デザイン化したクレドや Culture Deck などを作成し、社内説明会や社内向けワークショップなどの浸透施策を実行する過程まで伴走支援する。

■1on1 支援

コミュニケーション研修に参加した企業の参加者を対象に、1on1 支援を実施する。定期的にコンサルティングを行い、対象者の変容をヒアリングする。また、希望する企業には1on1 代行サービスを提供し、組織に対して抱えている課題や目標を引き出し、明確化する支援を行う。

■長期実践型インターンシップ

学生と企業が共に取り組む約6ヶ月間の長期実践型インターンシップに伴走支援を行い、企業のプロジェクト加速や組織活性化を目指す。プロジェクト期間中だけでなく、プロジェクト全体の設計から学生マッチング、学生のモチベーションやプロジェクトの進捗フォロー、事後フォローまでフルサポートする。

企業が課題やフェーズに応じて、上記のようなサービスを組み合わせて利用できるような長期的な伴走支援体制を構築し、地域の支援機関で連携して組織の持続可能な成長を支える。

（2）実施時期

本計画の期間は、第二期石川県基本計画との整合をとり、承認の日から 2029 年度末日とする。

3 連携支援事業を実施する者の役割分担、相互の提携又は連絡に関する事項

(1) 連携支援事業を共同で実施する地域経済牽引支援機関の名称及び住所並びにその代表者の氏名並びに当該地域経済牽引支援機関の役割

	当該連携支援事業を実施する者の①名称、②住所、③代表者名	④当該連携支援事業における役割
1	①株式会社ガクトラボ ②石川県金沢市此花町 5-6 ライフ金沢第1ビル 601A ③代表取締役 仁志出憲聖	当該連携支援事業の代表者 ④連携支援事業全般に関する事務局を務め、企画・運営の主体となり、事業の進捗管理を実施する。
2	①石川県 ②石川県金沢市鞍月1丁目1番地 ③知事 馳浩	④石川県は(株)ガクトラボが実施する各事業について、必要に応じてオブザーブ参加するとともに、各事業における成果や課題についての意見交換を実施する。そこから見えてきた課題や経営者、人事担当者などの声を県が実施する各種施策に反映させることで、一体的な地域経済牽引事業の支援につなげる。
3	①金沢市 ②石川県金沢市広坂1丁目1番1号 ③市長 村山卓	④金沢市主催・(株)ガクトラボ企画運営にて中小企業向けに行う事業において、参加企業に金沢の人事部事業の情報提供の場を設ける。金沢市からは、(株)ガクトラボに対して中小企業向け補助金・助成金などの取り組みを情報提供し、金沢の人事部参画企業に公式 LINE や打ち合わせの際に提供する。  金沢市は(株)ガクトラボが実施する各事業について、必要に応じてオブザーブ参加するとともに、各事業における成果や課題についての意見交換を実施する。そこから見えてきた課題や経営者、人事担当者などの声を市が実施する各種施策に反映させることで、一体的な地域経済牽引事業の支援につなげる。
4	①金沢大学 ②石川県金沢市角間町 ③学長 和田隆志	④オンライン合同説明会事業において、大学生へのイベント周知を行う。

(2) 連携支援事業を共同で実施する地域経済牽引支援機関の相互の提携又は連絡に関する事項

本計画に基づく連携支援事業を円滑に実施するため、地域経済牽引支援機関との定期的な情報交換会の実施や、オブザーブ機会の設定を行う。

① 行政機関

石川県および金沢市と(株)ガクトラボは、年に数回の「情報交換会」を実施する。各機関が進める事業や施策について、成果や課題を共有し、双方の立場から地域企業の人材領域に必要なサービスや施策を検討する。また、(株)ガクトラボが実施する各事業には、行政

機関の担当者が必要に応じてオブザーブ参加し、地域経済牽引支援機関間の連携を強化するとともに、施策を受ける地域企業のリアルな状況を正確に把握できるようにする。

## ② 教育機関

金沢大学とは、年間を通じて月に1回程度のペースで「情報交換会」を実施する。特に(株)ガクトラボがオンライン合同説明会などの学生向けイベントを開催する際には、連携を密に図る。金沢大学は、(株)ガクトラボから提供される情報をもとに、大学のWEBサイトへのイベント情報掲載や、学生向け一斉メール配信の手配を行う。こうした取り組みを通じて、地域経済牽引支援機関が一体となり、地域企業と学生をつなぐための具体的な支援策を講じる。

## II 任意記載事項

### 1 補助金等交付財産の活用に関する事項

特になし